

第2回3月11日知事メッセージ起草委員会 主な意見

○全体的な趣旨、構成について

- ・必要な要素は入っているが、主張したいところを際立たせるような工夫が必要。
- ・事実関係はある程度必要だと思っている。メッセージとはいえ12年の記録であり、遠い将来これを見た人が、この時にこういう具体的な事実があったと見えた方がイメージしやすい。
- ・知事らしく優しく丁寧な言い回しで、しっかり語りかけていただきたい。
- ・全体的にちょっと難しい。子ども達は1行目から難しく感じるのではないか。
- ・震災や原発事故の歴史も子ども達に伝えていかなければならない。
- ・最後の段落のように自分の想像を活かしながら読める文章であれば、知事の言葉プラス自分の感情が加わるので伝わっていくと感じた。
- ・将来、読み返したときに、あの時こうだったとかの過去の振り返りや忘れていたけどあの時こうだったと思い出せるようなメッセージになれば良い。

○入れ込むべき内容について

- ・今まで色々なメッセージを県は作っているが、どれも良いメッセージだと思うのでその中のキーワード、言葉を使うのも良い。
- ・引用の野口英世先生の言葉はすごく良い。福島県人の中に素晴らしい方がいて自分で切り開いてきたというメッセージをもう少し強く出しても良い。
- ・福島の良さは温かさであったり、情熱を持った心の豊かさだと思う。
- ・言いたいことを短く表現する工夫が必要。

○メッセージの表現等について

- ・引用が多いため絞る方が良い。同じ言葉を何回も使うのであれば知事のいつもの柔らかい言い方と合わせると良い。